

～変わらないために変わり続ける※力を養う～ ※Amazonの考え方

コロナ禍の中で、一括採用・研修・配属という日本的雇用が崩れ、専門スキル中心のジョブ型雇用が進み出しました。日本の社会や企業が学生に求める能力も急速に変わりつつあります。

本講座では、世界に通じる物事の見方、財務諸表や数字の意味を紐解く力と発想力を身に付け、社会の変化に対応して変わり続ける能力を養います。

2021年度 受講生募集

国際戦略リーダー講座

対象者 工学部の学生（他学部の学生も可）

応募方法 本講座では、調査や討論をしながら企業の世界戦略を考えます。受講を希望する学生は、下記の課題のレポートを提出してください。レポート提出をもって応募とします。

レポート課題 「身近を観察して、今後の社会で必要とされることは何かを考えてください。」自由に記述ください。

レポート提出締切日 2021年 5月 22日 土

レポート提出先 Google Form より提出ください。
[URL] <https://forms.gle/pQ5KSXR87PKTSXkQ9>



*参考となる文献や予習については工学教育院ウェブサイトで紹介しています。

問合せ先 工学教育院（工学部 教務課学部教務係）

E-mail: eng-edu@grp.tohoku.ac.jp [URL] <http://www.iee.eng.tohoku.ac.jp/lecture/intl.html>

東北大学 工学教育院



2021年度に取り組むテーマ

コロナ禍が続いて貧困・格差が拡がり、産業・社会の構造がこれまでとは不可逆な世界に入ってきました。過去の産業革命をよく理解し、現在進むDXを踏まえて

「2050年のあるべき姿を考え、日本の方向を変えるべく 時価総額100兆円のポテンシャルを持つ新事業を提案してください。」

科学技術の進歩は、暮らしや社会の仕組みを変えてきました。いま、我々はゲノム編集による「神の手」を得ようとしています。一方、コロナにより社会の歪が顕在化し、不可逆な世界に入ってきました。日本は産業・社会構造の変化についていけず、世界から取り残されてます。本年度は「今後の社会で必要とされることは何か、世界に通じる日本をどのようにして創るか」について、産業革命や企業の飛躍などを数字で理解し、財務諸表的な考えをベースに、2050年に向けた新事業とその戦略を作ることに挑戦します。

初めて参加の皆さんは、まずは財務諸表を学び、数字で2050年の世界の姿を俯瞰してください。参加複数回目の皆さんは、財務諸表学び直しと、諸表的な考え方をベースに新事業あるいは成長させる事業について初参加の学生をサポートしながら一緒に考えてください。 ※本講座では、オンラインビジュアル・コミュニケーションツールやチームコラボレーションソフトも使用します(Mural, Miro等)。

◆特典

- ・「グローバル工学奨励賞」を工学部長より授与します。
- ・学修レベル認定制度の「ジャンル5:価値創造力」のポイント付与対象です。

◆学外講師陣(6～7名): 大手企業の役員等/国連機関の駐日代表

講座の実施スケジュール ●前期 [教養]

土曜日 9:00～12:00 開催

※変更の可能性あります。

テーマ: 財務諸表の基礎、国際情勢、経営ゲーム

- ◆開催日: 5/ 29
- 6/ 5 12 19 26
- 7/ 3 10 17 24 31

●後期 [企業戦略立案]

テーマ: 企業の分析および事業提案 企業の経営層からの指導や若手社員との協働があります。

- ◆開催日: 10/ 2 9 16 23 30 11/ 13 20 27
- 12/ 4 11
- ◆合宿: 10月～11月のいずれかの土日
- ◆最終発表会: 12/18(土)終日



東北大学 工学研究科・工学部
SCHOOL OF ENGINEERING, TOHOKU UNIVERSITY